

Struts 2 フレームワークでのWebアプリケーション開発

期間（標準日数）: 3 日

コースの概要

このコースでは、Struts 2 フレームワークを利用した Web アプリケーションの開発について説明します。また、Struts 2 フレームワークで提供されているカスタムタグの種類や使用方法、入力値検証と例外処理について説明します。さらにアノテーションを使用した設定や Interceptor について説明します。

Learn to:

Struts 2 フレームワーク概要

Struts 2 フレームワークを利用したアプリケーション開発

アクション

JSP

Struts 2 での入力値検証と例外処理機構

アノテーションを使用した設定

対象者

Application Developers

Developer

J2EE Developer

J2EE 開発者

Java Developer

Java 開発者

アプリケーション開発者

開発者

前提条件

必要とされる前提コースまたは前提知識

Java アプリケーションの開発経験

サーブレット、JSP および基本的な Web アプリケーションの開発経験

Java プログラミング I

Java プログラミング II

サーブレット/JSP を使用した Web Component 開発

コースの目的

フレームワーク概要の理解

Struts 2 フレームワーク概要の理解

Struts 2 フレームワークを利用したアプリケーションの開発

アクションの理解と作成

JSP の理解と作成

Struts 2 での入力値の検証

Struts 2 での例外処理

アノテーションを使用した設定

Interceptor および Plugin についての理解

コースの内容

フレームワーク概要

フレームワーク概要

Java EE フレームワーク(Servlet/JSP/EJB) 概要

Struts 2 に至るまでの歴史

Struts 2 フレームワーク概要

Struts 2 とは

MVC モデル 2 アーキテクチャ

Struts 2 と他の Web MVC フレームワークとの比較

動作の仕組み

Struts 2 フレームワークを利用したアプリケーション開発

アプリケーション開発の流れ

ファイル構成と配置

アクション

アクションクラスの作成

セッションの利用

プロパティや getter/setter の分離

他のメソッドの呼び出し

JSP

JSP の作成

JSP ファイルの作成

JSP 構成要素の挿入

カスタムタグの利用

Struts 2 での入力値検証

Struts 2 での入力値検証

プログラミングでの入力値検証

XML ファイルを使用した入力値検証

Struts 2 の例外処理機構

Struts 2 の例外処理機構

Exception マッピング

アノテーションを使用した設定

アノテーション概要

Struts 2 におけるアノテーションの分類

アノテーションの利用

高度な機能

インターフェプタ

Plugin 機能

総合演習